

カルメル

靈性センターニュース



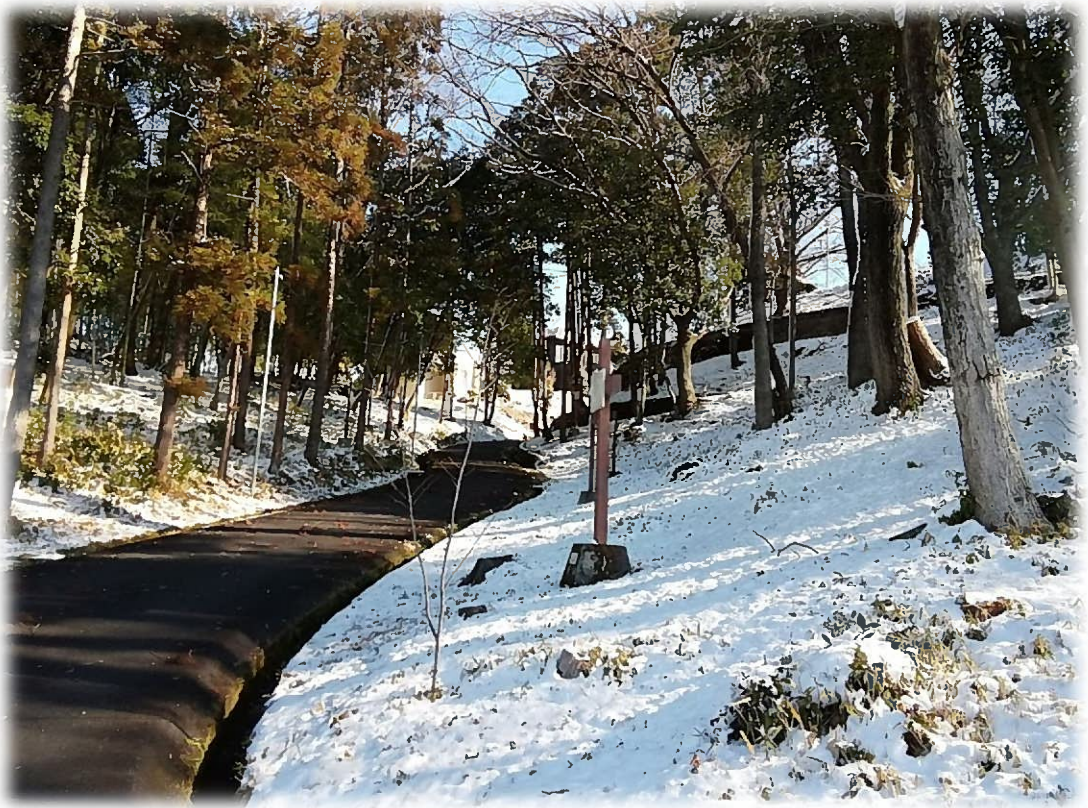
2025年3月

417号

## 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| 目次                  | 1  |
| 心の泉                 | 2  |
| 通信深読お申込みのご案内        | 23 |
| カルメル会の企画案内          | 24 |
| 東京                  | 25 |
| 京都                  | 27 |
| 名古屋                 | 31 |
| 諸所の企画案内             | 32 |
| 霊性センターニュース郵送終了のお知らせ | 36 |

# 心の泉



宇治カルメル会修道院



## 第四巻 聖体拝領への信心の勧めはここにはじまる

### 第六章 聖体拝領の準備とための祈り

#### 1 子

《主よ、私はあなたの偉大さと自分のみじめさを思い、全身ふるえおののき、恥じ入らざるを得ません。聖体に近寄らなければ私はいのちから逃げることになり、またふさわしい準備をしないで拝領すれば、あなたを侮辱することになるのです。私はどうしたらいいのでしょうか？私の唯一の助け、私の困難の時の指導者である神よ！

#### 2 主よ、教えてください！

主よ、まっすぐな道を教え、聖体拝領に適切で効果的な短い信心をさせてください。あなたのこの秘跡を、救いに効果あるものとするために、どのようにするべきなのでしょう。この偉大な神のいけにえを献げるにあたり、自分の心をどのように敬虔に、思慮深く備えるべきかを知るのは、私にとって実に益のあることです。》

### 第七章 良心の糾明と、自分を向上させる決心

#### 1 主

《司祭は、ミサをおこない、私のからだを受けるにあたって、何よりも心の深い謙遜と尊敬と、満ちあふれる信仰と、神の栄光を乞い願う敬虔な意向をもたなければならない。良心を一心に糾明し、真の痛悔と謙虚にゆるしの秘跡を受けることによって良心を清めなさい。大罪の意識と苛責<sup>かしやく</sup>を一切もたずに、自由な心をもって私のからだに近づくためである。あなたの罪を、すべてにわたって痛悔し、特に毎日の過失を嘆き悲しみなさい。またもし時間がゆるせば、心の奥にある罪の傾きを神に告白しなさい。

#### 2 犯しやすい罪

嘆き悲しみなさい、あなたがまだ肉欲にとらわれ、世俗的な考えに従っていることを。邪欲をまだ抑えきれず、欲望にかられ、五感を慎まず、しばしば無意味な空想に悩まされていることを。外部の事柄に興味を持ち、内的な事柄をないがしろにしていることを。気晴らしと遊びを好み、涙と痛悔とを避けていることを。安楽と肉欲とに傾きやすく、厳しい生活と熱心とを求めるのを嫌がることを。流行を追い求め、新奇なものを見るのを好み、低いこと、質素なことを拒むことを。たくさんものを持ちたがり、与えることを惜しみ、持っているものを握<sup>め</sup>って離さないことを。話す時には軽薄で、沈黙を知らないことを。態度は不謹慎で、目<sup>ざわ</sup>障りな行動をとることを。食をむさぼり、神のみことばに対しては耳が遠いことを。休むのは早く、働くのは遅いことを。むだ話は好んで聞き、祈りのうちに夜を過ごす時は眠くなり、早く祈りを終わろうとし、気を散らすことを。教会の祈りを唱える時には怠惰、ミサには冷淡、聖体拝領には無感動であることを。すぐ放心し、ほとんど神を思うことを知らず、怒りやすく、すぐ他人を不愉快にさせ、他人を裁きやすく、厳しく他人を非難することを。うまくいく時には天にも昇る心地になり、不幸の時にはすぐ落ちこむことを。しばしばよい決心を立てるが、ほとんどそれを実行しないことを。あなたは嘆き、そして改めなければならない。



神への軽やかな飛翔！

神よ 全身全霊をもってあなたを呼び求めます。  
あなたへ手を差し出します。

心の奥底で わたしは知っていますから  
あなたがわたしを呼んでおられることを。\*

5日 灰の水曜日

9日 四旬節のはじまり

希望は愛から生れるもので、

十字架上で刺し貫かれたイエスのみ心から湧き出す愛を土台としています。

イエスは、たくさんの言葉で人々を圧倒することによってではなく、  
自分のいのちを贈り物として差し出すことによって世界を変えたのです。

教皇フランシスコ

19日 聖ヨセフ

2日 神のお告げ

## テレーズ列聖 100周年 信頼の道を行く

どうしてわたしの望みが、わたしの愛の証拠だなどとおっしゃるのですか。小さい者であるわたしの中で神さまのみ心にかなうものは、決してそれではないとはっきり感じます。

主のみ心にかなうものは、わたしが自分の小ささ、貧しさを愛し、主の慈しみに、盲目的に信頼しきっていることです・・・  
それがわたしの唯一の宝です。 マリーへの手紙 1896



聖年の恵みとして「ゆるされる喜び」、「ゆるす喜び」を日々紡いだら…きっと小さな平和の芽が「がれき」の中からも息づいてくるでしょう…、

伊従 信子 (いよりのぶこ)  
ノートルダム・ド・ヴィ

\* 「神と親しく生きる いのりの道」 聖母の騎士社 聖母文庫

フランシスコ教皇の言葉⑪

虐げられた兄弟姉妹の叫びが、天にまで届いています。

その叫びは、わたしたちの耳に届いているのでしょうか。

「虐げられた兄弟姉妹」とは、直接的には、ウクライナやパレスチナでの戦争、世界各地での紛争に巻き込まれ、犠牲になった人々、つまり、殺された人々、負傷した人々、難民となった人々のことが意味されているのでしょう。もちろん戦いはなくとも、人種差別やさまざまな差別によって、政治的社会的に迫害され、経済的に困窮している人々も含まれていると思います。

さらには、場所だけでなく時間も超え、過去のすべての虐げられた人々がここには含まれているのではないのでしょうか。

神は、弟アベルを殺したカインに言われます。

「お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる」(創4・10)。

戦争を起こすたびに、人類は「弟殺し」をしているのです。人は兄弟姉妹を「殺してはならない」のです。これは神の命令です。第二次世界大戦、太平洋戦争、朝鮮戦争、ベトナム戦争と、虫けらのように亡くなっていった兄弟姉妹の血が、今もお土の中から叫びとなって、天にまで届いているのです。

(P. 九里)

## 十字架の聖ヨハネのこぼれ話 (199)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

### まったくヒューマニズム (4)

(理性に対する) その計りしれない高い評価に関する教訓として、私たちの教会博士は、次のような言葉というか格言を書き残しました。

「人間のただ一つの思考の方が全世界よりもとうとい」。なぜならば、価値ある者は、明らかに人間であり、人間の人格 (ペルソナ) にあるからです。そのより完全な成長のために、十字架のヨハネは熱心に戦ったのです。

### 諸徳によって築かれる(1)

十字架のヨハネを人間かつ聖人、聖人かつ人間と見なす私たちの考えから、なお十字架のヨハネの教義的な他の支えを見つけようとするならば、ある徳と他の徳との一致に関する彼の考えに、つまり、聖なる人間はどのように造られるのか、どのように諸徳によって築かれるのかということに関する彼の考えに、言及しなければなりません。けれどもこれらの諸徳によって私たちはこの建物の美しさと堅固さを見ることになるのです。

「徳の一つの行いが、(十字架のヨハネは次のように考えるのです)、心のうちに、こころよさ、平和、慰め、光、清らかさ、力を同時につくり出すのです」(1S12, 5)。

『霊の賛歌 B』第 24 章の似たような文脈の中では、こう述べています。「心得ておくべきは、おのおのの徳はそれ自身、平和で温和で強いということである。したがって、徳を所有している靈魂内に三重の効果、すなわち平和、温和、剛毅を生じる。……それで徳のおかげで、靈魂は絶対的な平和と安全とを享有しているので、自分はことごとく平和で築かれたもののように思う。」(8 節)

(続く)

P. 九里訳

年間 第8主日 (C)

(ルカ6：39－45)

「善い人は良いものを入れた心の倉から良いものを出し、悪い人は悪いものを入れた倉から悪いものを出す。人の口は、心からあふれ出ることを語るのである。」

今日、C年に読まれるルカによる福音書では、イエス・キリストに心から従っていくことに関する教えが述べられています。この箇所が語るの  
は、自分の誠実さと、他者への肯定的な見方についてです。

イエスは、キリスト者として生活するための実践的なポイントとして、  
私たちが言葉がけを通じて、他者に命、喜び、幸福、希望と勇気を与え、  
他者に良い助言と慰めを与え、病や罪から他者を癒し解放するようと呼  
びかけています。私たちは、人々が霊的にも身体的にも健康で、聖なる幸  
せな生活を送れるよう手助けする必要があります。これこそ私たちのキリ  
スト者としての緊急の召し出しです。さらにイエスは、不必要な批判や軽  
率な判断を避けるようにと教えています。

私たち信者は、善良な心と行いが求められています。私たちの心には、  
愛情、愛徳、理解、善さ、ゆるし、寛容、思いやりその他多くの徳の宝が  
あります。また、悪の倉でもあります。これらの徳を用いて他者を豊かに  
するとき、私たちは善い実を結び、悪徳を用いて他者を批判したり裁いた  
りするとき、私たちは悪い実を結ぶのです。誰しも、心からあふれ出るこ  
とを語り、それによって行動するのです。

私たちは皆、神と隣人を愛する「愛の掟」を知っています。また、敵を  
も愛さなければなりません。私たちは、言動に一貫性を持たなければなり  
ません。他者を愛するとき、ありのままの彼らを受け入れますが、他者を  
憎むとき、私たちは彼らを批判します。他者とかがかわる時には注意を払い  
ましょう。さあ、イエスの生き方にならって愛を中心に生き始めましょ  
う。なぜならキリスト教の中心は愛だからです。

(Sr. Paulina)



## 四旬節 第1主日（C年）

（ルカ4：1－13）

四旬節第1主日はイエス・キリストの宣教の準備の最後の時であると言えるでしょう。荒れ野の誘惑の40日間は、ご存じのように出エジプトを経験したイスラエルの民が、約束の地に至るまでの荒れ野での40年間と重なるものです。

イスラエルの民にとっての荒れ野の40年間は、外的な意味で出エジプトをした民が、約束の地に入るに相応しい民となるために内面においても死から命への過越がなされるための場でした。

それは、内面に深く残っている罪を曝け出す場であり、神への反抗としての罪が顕わになり、罪の結果としての裁きである死を経験しながらも、神がイスラエルの民を導き、次世代に学ばせ、最終的に生命の躍動である約束の地へと至らせる神を見るための場でした。

荒れ野について書かれている民数記は、次世代への希望で終わりますが、モーセ五書はさらに申命記へと続きます。

申命記は約束の地を前にしたモーセの遺訓。荒れ野の放浪を振り返り、約束の地で生きるための律法、生き方を語っています。

申命記は、荒れ野を歩んだ親たちから学び、成長した次世代に語られています。モーセ五書は、約束の地へと至るヨルダン川を渡る手前で、約束の地の希望を見据えながら閉じられます。

その後の歴史書は、大雑把に言えば、約束の地へ入った後の失敗について書かれています。荒れ野における真の過越、内面の過越がなされていませんでした。

イエス・キリストは、荒れ野における真の過越、内面における過越の戦いを私たちに見せてくれています。

荒れ野の試みの後、真に過越がなされている者として、約束の地に至った者としてイエス・キリストは私達に語っています。

イエス・キリストが荒れ野の3つの誘惑を、全ての申命記の文言で跳ね返したことは私たちにとって大きな意味があると思います。

申命記を聖書全体のメッセージの中でどう位置付け、イエス・キリストが大切にされたように私たちもその心を汲み取ることは難しいですが、とにかく、申命記を学ぶことは重要です。申命記を学びましょう。

（P. 志村）

みことばのひびき「四旬節第2主日(C年)」は執筆者の都合により、休載することをお詫びいたします。

C年は2022年または2019年3月号、2016年2月号等にも掲載されていますので、どうぞご覧ください。

## 四旬節 第3主日

(ルカ13：1-9)

四旬節も第3主日を迎えました。今日の福音のイエス様の言葉は、自分自身を見つめ直して神に立ち返り、復活祭に向かって歩んでいる私たちにとって、力強くあらためて、神に立ち返るようにと語りかけてくださる言葉ではないでしょうか。

初めに、ガリラヤ人たちの災難の話が出ます。イエスは彼らが他のガリラヤ人よりも罪深い者だったからではない、また悔い改めなければ皆同じように滅びると言われます。

そして人々が神に立ち返って、悔い改めるように、神がどの様に私たちのことを想っておられるか理解させるため、「実のならないいちじくの木」のたとえの話をされました。

ある人がぶどう園に植えたいちじくの木。それは実がなる様にと望まれ、期待をして植えたいちじくの木。その人は実がなると思い、3年もの間、実を探しに来たけれども、実がなっていなかった…。そして世話をしている園丁に「切り倒せ」と言ったわけです。園丁は、御主人様に、「このままにしておいてください。木の周りを掘って、肥やしをやってみます。そうすれば、来年は実がなるかもしれません。もしそれでもだめなら、切り倒してください。」と嘆願し、このいちじくの木のために執り成しをします。

この園庭の姿こそが、神様の私たちへの想いの姿、愛の姿ですね。神の恵みを受けて歩んでいる私たちですが、神様は受けている私たちが成長し、実を結ぶように、滅びることのないように、救われるようにと願っておられるのですね。

私たちの救いのために、神の子御ひとり子は人となられ、私たちのところに来て私たちのために十字架につけられ、命を捧げて下さいました。その救いの御業によって私たちは信じて洗礼を受けることによって神の子とされ、今という時を歩んでいます。

神の恵みを豊かに受けている私たち、神の子としてふさわしい歩み、ふさわしい実りがないなら。悔い改めないなら滅んでしまうことにもなりかねないでしょうか。私たちの救いを望んでおられる神様の想いを心にしっかりと受け止め、神に立ち返って、ともに歩んでゆくことができますように。

(Fr. 古川利雅)

## 四旬節 第4主日 (C)

(ルカ 15 : 1-3、 11-13)

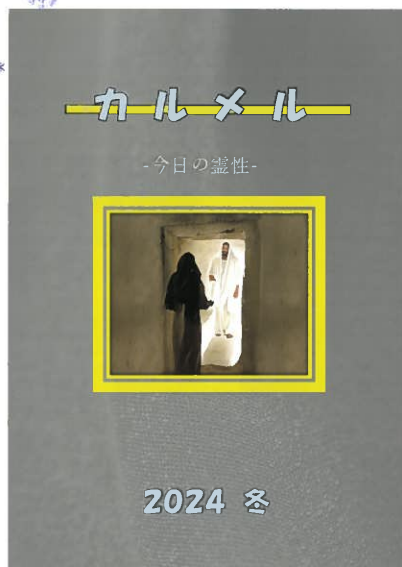
今日は四旬節第4主日を祝いますが、「レターレ Laetare の主日」としても知られています。「レターレ」とは「喜べ」という意味です。つまり教会は、復活祭を心待ちにする喜びを祝いますが、主イエス・キリストの復活の喜びを待つ四旬節の半分まで来ています。四旬節は悔い改めの季節ですが、イエスの復活を祝う希望と、四旬節の慣習を忠実に守って生きる幸せを抱いています。

今日の福音は、よく知られている「放蕩息子」のたとえ話です。このたとえ話の主な登場人物は、愛情あふれる父親と独善的な兄と放蕩息子の3人です。放蕩息子は、最終的に愛情深い父親と和解しますが、私たち罪人の一人ひとりも、天の父と和解するよう促されています。四旬節の中心テーマは、悔い改めと、父なる神のいつくしみと愛に立ち返ることです。ですから、今日の福音は私たちに悔い改めて神のいつくしみ深い恵みに立ち返るよう呼びかけています。四旬節は、罪の世界から和解の世界へと向かう時、憎しみの世界から愛の世界へと向かう時、戦争の世界から平和と調和の世界へと向かう時です。このことは、父親が開いた祝宴に参加しなかった独善的な長男の例から学ぶことができます。放蕩息子は、逆に自分の罪深さを認めて和解し、愛情深い父親が用意した楽しい祝宴に参加しました。放蕩息子は、今までの罪深い生活から、回心した生活へと方向転換したのです。

このたとえ話は、キリストにおける新しい人生についても教えています。放蕩息子のたとえ話は、回心の物語です。正気に戻った次男は、良心の声に耳をすませました。そしてその声に従って、真の悔い改めの気持ちで父のもとに戻ったのです。これは、死の世界から永遠の命の世界へと戻ってきたことを意味します。イエスがこのたとえ話を語られたのは、私たちに和解してふるさとに戻り、いつくしみあふれる御父の赦しの愛を経験してほしいと願われたからです。

*(Sr. Paulina)*

# カルメル誌 新刊案内



## 2024年 冬号 No.395

### カルメルの外のカルメル

—教会の外から見られたアピラの聖テレジアと  
十字架の聖ヨハネ(8) 鶴岡賀雄

旧約聖書から学ぶキリスト教霊性  
—創世記一章① 志村 武

1915年のエディット・シュタイン  
—メーリッシュ・ヴァイスキルヘンにて 釘宮明美

テレーズ列聖百周年に向けて  
—救い主イエスを待ち望む 伊従信子

陶器師の山暮らしの日々から  
ラウダート・シ=神のいのちへの道(4) 椿 権三

風に吹かれて再び(10)—あるがままに 原 造

キリストの説かれた 幸いなる道(12) 九里 彰

霊的研究会講義録(26)—聖書・祈り・愛について  
奥村一郎



## 2024年 四旬節特別号

「わたしたちを愛に導くのは信頼、ただ  
信頼だけです」(聖テレーズのメッセージ)  
聖テレーズ生誕 150 周年記念 教皇  
フランシスコ使徒的勧告「信頼」に導かれて

わたしは愛になりましょう  
—愛の道を飛んでいくために 今泉 健

詩「むしられたバラ」より  
—テレジアの愛の道 九里 彰

テレーズの信頼の道・小さい道と  
ヤコブ・イスラエルにおける小さい道 志村 武

現代の闇を照らす灯火  
—テレーズの進行の試練 片山 はるひ

小さな 偉大さ 伊従 信子

ご案内 1冊 580円 A5サイズ 50~70ページ

サンパウロ・ドンボスコ書店・イグナチオ教会案内所・上野毛教会信徒ホール本コーナー・  
各カルメル会黙想の家 他にてお求め下さい

●送付ご希望の方は、1冊 580円 (+送料 140円) を下記へお振込み下さい

●年間での継続送付ご希望の方は、年会費 (年 5冊 : 春夏秋冬+特別号 計 3,600円) を  
下記へお振込み下さい

郵便振替:00190-4-195457 跣足カルメル修道会

●お問い合わせは、事務担当: 内田幸子宛に上野毛修道院へ手紙かファックス、又は e-mail で。  
〒159-0093 世田谷区上野毛 2-14-25 Fax: 03-3704-1764

E-mail: carmelshi.jimu@gmail.com

# 跣足カルメル修道会HP (International)

跣足カルメル修道会ローマ本部のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。

<< Communications (時事通信) >>

2024年12月23日

## 跣足カルメル在世会 本部の総長代理、 インドの跣足カルメル在世会を友愛訪問

2024年10月～11月にかけて、跣足カルメル在世会本部の総長代理、ラミロ・カセーレ神父, OCD. は、インドの、カルナータカ・ゴア、マラバル、マンジュンメル、南ケララ、タミルナドゥ、管区にある跣足カルメル在世会の共同体を訪問されました。

訪問中に各地で催された集会と行事は、インドと世界の跣足カルメル在世会共同体の生活の重要な側面と触れ合い、考察する絶好の機会となりました。

各地でのプログラムは、祈り、会議、レクリエーション、文化的・社会的活動の時間などが、多彩に企画されていました。

インドでは、跣足カルメル在世会への召命が増えており、多くの人々が、その会員の祈り、共同体の友愛と使徒職の生活に引き寄せられて入会しています。

インドで長年にわたり存在感を持つ、跣足カルメル修道会は、キリスト教の信仰を持ち、霊的生活において成長をする道を探し求めている多くの男女にとって、インスピレーションが得られる源となっています。

そのため跣足カルメル在世会の各管区顧問会の代表たちは、自分たちの共同体の会員達への司牧と、彼らの心身の健康と霊的な成長、そして社会的な幸せを保持するために尽力しています。

インドの跣足カルメル在世会はとても活動的で、会員達は教会や教区を支援し、カルメル会の霊性を広め、様々な典礼、文化、社会プロジェクトにも参加しています。

(訳・注:小宮山延子)



# いのちの言葉 3月

あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、  
なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。<sup>1</sup>

(ルカによる福音書 6・41)

1

イエスは山で祈りのうちに一夜を明かされた後、使徒たちをお選びになりました。山から下りて、平らな所にお立ちになると、弟子たちに「幸い」について話し始められました。

ルカ福音書には（マタイ福音書とは異なり）、4つの「幸い」のみが記されています。それらは貧しい人、飢えている人、泣いている人、苦しみにある人に関するもので、後半には富んでいる人、満腹している人、傲慢な人<sup>2</sup>に対する戒めが加えられています。ナザレの会堂<sup>3</sup>で、貧しい人々に対する神の特別な愛を明示されたイエスは、主の霊に満たされ、貧しい人々に「良い知らせ」を告げ、捕らわれ人に解放を、虐げられている人に自由をもたすことがご自分の使命である、と宣言されました。

さらにイエスは、弟子たちに敵をも愛しなさい<sup>4</sup>と言われます。これは「あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい」(ルカ 6・36)とあるように天の父のなさり方に由来するものです。

そしてなお、イエスは「人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。人を罪人(つみびと)だと決めるな。そうすれば、あなたがたも罪人(つみびと)だと決められることがない。赦しなさい。そうすれば、あなたがたも赦される」(ルカ 6・37)と続けられます。そして、非常にアンバランスな例えを故意に用いて、次のように戒められます：

あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、  
なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。

イエスは、人の心を見抜いておられます。実際、日々の生活の中で私たちは、どれほど安易に他の人の過ちや欠点を厳しく批判しているのでしょうか。神のみに属する特権を自分に帰していることにも気づいていません。「丸太」を取り除くためには、自分は神の赦しを絶えず必要としている罪人だと気づく謙虚さが要ります。自分の目にある「丸太」に気づき、勇気をだして自らの在り方を変える決心をする人だけが、非難も誇張もせず、自分自身と他の人の弱さを、真に理解する人です。

とはいえ、イエスは、私たちの周りで起きていることに目をつぶり、ただ成り行きに任せればよいとは言われません。弟子たちが助け合い新たな生き方を共に歩むよう望んでおられます。使徒パウロもそうです。「怠けている者たちを戒めなさい。気落ちしている者たちを励ましなさい。弱い者たちを助けなさい。すべての人に対



して忍耐強く接しなさい」<sup>5</sup>と繰り返し語っています。他の人々に対してこのような奉仕を可能にできるのは、唯一、愛だけです。

あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、  
なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。

では、今月のみ言葉をどう生きたらよいでしょう？

今までお話ししたことに加えて、この四旬節の間とくに、イエスが他者をどうご覧になるのか、また、神が他者をどうご覧になるのかを教えてください。神は絶えず私たちに愛のまなざしを注いでくださるのですから。

ところで、トレント（イタリア）の最初のフォコラーレではあることを実践し、それはフォコラーレの生活を決定的なものにしました。しかもそれは誰もが見做うことのできる生き方でした。

ある時、フォコラーレの創立者キアラ・ルービックは、イスラム教徒の友人たちにこう語りました。「私たちの間でもお互いの関係に埃が溜まり、一致が弱まることがありました。例えば、相手の欠点や不完全さが気になり、それを批判するようになると、お互いの愛はすぐ冷えてしまいます。そこである日、これを何とかしなければと思いある決心して、私たちは一つの約束を交わしました。それを『憐れみの約束』と呼びました。毎朝顔を合わせるとき、あるいは家庭、学校、職場で出会う人と顔を合わせる時、相手のことを、今までどんな欠点にも陥ったことのない、まったく新しい人として見るという約束でした。すべてを赦し、すべてを忘れてくださる神の目をもってお互いを見ることを誓ったのです。私たちにとってこの約束は、憐れみ深い神に倣い、いつも自分の方から先に愛する人であるために、皆で勇気をもって行った大きなチャレンジでした」<sup>6</sup>。

あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、  
なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。

アウグスト・パロディ・レイエスと「いのちの言葉」編纂チーム

\*いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

連絡先：フォコラーレ 東京 03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812  
E-mail:tokyofocfem@gmail.com ホームページ: <https://www.focolare.org/japan/>

<sup>1</sup> 日本聖書協会「新共同訳」

<sup>2</sup> ルカ 6・20-26 参照

<sup>3</sup> ルカ 4・16-21 参照

<sup>4</sup> ルカ 6・27-35 参照

<sup>5</sup> 1テサ 5・14 参照

<sup>6</sup> キアラ・ルービック、「隣人への愛」、友人のイスラム教徒たちとの対話、カステルガンドルフ、2002年11月1日

# 新刊紹介

## 聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた ニコラオ・プレシエル神父の講話Ⅱ ロザリオの祈り



Chrysostomus  
小野崎良子 編

## ロザリオの祈り

聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた  
ニコラオ・プレシエル神父の講話Ⅱ

【出版社】 教友社

【著 者】 小野崎良子：編

価格 1,650 円（税込）

品番/ISBN: 9784907991807

発売/発行年月: 2022 年 3 月

判型: A5

ページ数: 184

中川博道師  
(カルメル会)  
《推薦》

聖母マリアは、「イエスを愛し、信じて生きるキリスト者の典型・模範」です（教会憲章 53 番）。ニコラオ師はロザリオを通して、日々私たちが、イエスの神秘をマリアとともに生きる道をわかりやすく説明してくださりました。

教友社の定価 (1,500 円＋税)

「ニコラオ神父様が、ロザリオの祈りを捧げながら歩いているときに、突然十五の玄義の流れが鮮明に示され、ご自分の中でまとまったその内容をわたしたちに語られました」（「はじめに」より）。ニコラオ師亡き後、師の薫陶を受けた信徒たちによって記録された講話が 1 冊の本に。中川博道師（カルメル会）推薦。

### 小野崎 良子(おのぎき・りょうこ)

1950 年夕張市大夕張の炭鉱の町に生まれる。小学 4 年生の時、「クリスマスにはプレゼントがもらえる」という級友の誘いに乗り、高校卒業まで熱心にカトリック教会に通う。その後地元を離れ旭川の学校に進学。青春を謳歌する日々の中、ふと感じた「空虚さ」を確かめるために再度教会(大町教会)を訪ねる。そこでニコラオ神父様に出会い受洗にいたる。

39 年間の教職生活を終えた後、ラジオで流れたキャロル・サック 宣教師の歌とハーブに触発され、日本福音ルーテル社団主催「リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座」にて 2 年間の養成を受ける。現在は求めに応じて、病床にある方、高齢者などを訪問し歌とハーブによる祈りをお届けしている。

### ニコラオ・プレシエル神父

1921 年、(旧)チェコスロバキアに生まれる。1940 年、ドイツ軍無線通信兵として従軍。

1946 年、フランシスコ会に入会(ドイツ・フルダ管区)し、1952 年、司祭に叙階される。

1953 年、来日。1956 年、カトリック名寄教会着任。以後、美唄教会、大町(旭川)教会、枝幸教会、稚内・枝幸教会、富良野教会にて司牧。

2001 年以後、フランシスコ会札幌修道院、月形町藤の園にて療養する。

2007 年 1 月 6 日、月形町藤の園にて帰天(85 歳)。

## 書籍紹介

十字架の聖ヨハネ理解のための  
待望の書 翻訳刊行



## 『十字架の聖ヨハネの霊性』

フェデリコ・ルイス師の講話  
〈十字架の聖ヨハネ・霊性神学研究の第一人者〉

著者：フェデリコ・ルイス

訳者：九里 彰

判型：B6 判並製

ページ数：184 ページ

価格：本体 1,600 円+税

ISBN：978-4-8056-3918-4 C0016

発行：サンパウロ

スペインで「詩人の守護聖人」と称される十字架の聖ヨハネは、日常生活の中で神との親密な関係を生き、キリストと、隣人との愛の交わりを生きた聖人でした。自身の神体験を詩で表し、自らそれを解説し、著作として残しています。彼は決して近寄り難い人物だったわけではなく、バランスの取れた温厚な人でした。

インターネットや AI が発達する、「霊性の時代」といわれる現代において、神との出会いを生きる真の意味を、十字架の聖ヨハネの思想、生涯の中に探ることができます。

十字架聖ヨハネを正しく理解することは、霊性を正しく理解することの基礎となっていくます。

フェデリコ・ルイス・サルバドル

1933 年スペイン、バレンシア生まれ。1950 年跣足カルメル修道会入会。

1957 年司祭叙階。ローマ・カルメル会国際神学大学テレジアヌム教授。

2018 年 10 月 27 日マドリードにて帰天。享年 85 歳

九里 彰

カイルメル修道会司祭。1981 年上智大学大学院哲学専攻、博士後期課程修了。1990 年カルメル会入会。1997 年司祭叙階。1999~2002 年スペイン留学。カルメル修道会 元日本地区総長代理。現在、金沢広坂修道院院長

# 愛と英知の道

—すべての人のための霊性神学—

ウィリアム・ジョンストン 著

監訳 九里 彰  
 岡島 禮子 三好 洋子 渡辺 愛子 共訳



西洋と東洋の神秘主義の伝統に通暁した著者が、21世紀というグローバル化し、「地球家族」となった現代世界のすべてのキリスト者に遺した霊的生活の道しるべ。「すべての人は、聖職位階に属している人も、あるいはそれによって牧されている人も、皆聖性へと召されている。『あなたが聖なる者となること、これが神の望みである』と使徒が言っているとおりである」（『教会憲章』39）。

本書は、十字架の聖ヨハネが16世紀に向けてなしたことを、21世紀に向けて行なおうとする、ささやかな試みです。言いかえると、その目的は、命の水を渴望する人たちへ、観想的な祈りを教えることです。筆者は、主にキリスト信者を念頭に置いて筆を進めますが、真理の探究において私どもと心を一つにし

- 第一部 キリスト教の伝統
  - 第1章 背景(1)
  - 第2章 背景(2)
  - 第3章 理性対神秘主義
  - 第4章 神秘主義と愛
  - 第5章 東方のキリスト教
  - 第6章 愛を通して生まれる英知
- 第二部 対話
  - 第7章 科学と神秘神学
  - 第8章 修徳主義とアジア
  - 第9章 神秘主義と根源的な文化(1)
  - 第10章 英知と(空)
- 第三部 現代の神秘的な旅
  - 第11章 信仰の旅
  - 第12章 浄化の道
  - 第13章 暗夜
  - 第14章 (愛のうちにある)
  - 第15章 花嫁と花婿
  - 第16章 一致
  - 第17章 英知
  - 第18章 活動
  - 第19章 社会活動の神秘主義



ウィリアム・ジョンストン William Johnston S.J. (1925-2010)

北アイルランドのベルファストに生まれる。  
 イェズス会に入会し、26歳で来日。  
 32歳で司祭に叙階され、以後、英語、英文学、宗教学を上智大学などで講じるがたわら、東西の宗教思想、特に神秘主義の研究と普及に尽力。パドロー・アルベ、トマス・マートン、ダライ・ラマ、永井隆、速藤周作との出会いを通して、次々と著作を発表。現代に則した霊性探求の先駆者として、世界に広く知られている。85歳で帰天。



# 書籍案内

## 生きる意味

### ●キリスト教への問いかけ

清水正之・鶴岡賀雄・桑原直己・釘宮明美 編

A5判・312頁・2500円+税

ISBN978-4-87232-100-5

東日本大震災と原発事故によって喚起された「生きる意味」という愚直な問い。その答えを示すことこそが、「宗教」である。グローバル化に伴う経済格差、労働のあり方、宗教の役割など——危機にさらされている人間の救済の道を探る。

#### ———目次———

- 序 「生きる意味への問いかけ」がなされる場をめぐって／鶴岡賀雄
- 1 東日本大震災と宗教／中下大樹
- 2 宗教と社会と自治体の災害時協力／稲場圭信
- 3 東日本大震災に思うこと／佐藤純一
- 4 脱原発の倫理／久保文彦
- 5 何のために働くのか／神谷秀樹
- 6 グローバル化する経済の中の人間／勝俣 誠
- 7 私たちの社会に希望はあるか？／宮台真司
- 8 関係の倫理学／清水正之
- 9 宗教が医療・医学に果たした役割、果たすことが期待されている役割／加藤 敏
- 10 V・フランクルのロゴセラピー／桑原直己
- 11 「神の子となる」——カルメルの霊性と共に／★九里 彰★
- 12 「おかげさま」の言語化と生き方による霊性化／中野東禅
- 13 エディット・シュタイン『十字架の学問』への道とその霊性／釘宮明美

オリエンス宗教研究所 TEL:03-3322-7601 FAX:03-3325-5322

ご注文は全国のキリスト教書店、オリエンスHP、FAX、ネット書店などへ



**第2版  
好評発売中!**

## 福者マリー=ユジェーヌ神父に導かれて 十字架の聖ヨハネの ひかりの道をゆく

伊従 信子 編・訳

ISBN978-4-88216-372-5 C0195

定価**540**円(税込)

【聖母文庫】 **287**



マリー = ユジェーヌ神父が十字架の聖ヨハネ  
を生き、体験し、確認した教えなのです。  
ですから、十六世紀の十字架の聖ヨハネの  
教えは現代の人々にも十分適応されます。  
また、神の命を伝え、実践的手段を示して  
聖性の最も高い段階へと導こうとする彼の  
配慮が伝わってきます。(「はじめに」より)

## 神と親しく生きる いのりの道

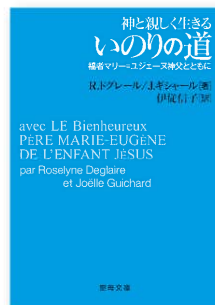
福者マリー=ユジェーヌ神父とともに

R. ドグレール / J. ギシャル 著

伊従 信子 訳

ISBN978-4-88216-307-7 C0195 【聖母文庫】 **246**

定価**540**円(税込) 209頁



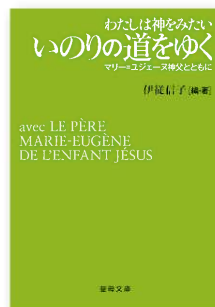
## わたしは神をみたい いのりの道をゆく

マリー=ユジェーヌ神父とともに

伊従 信子 編・著

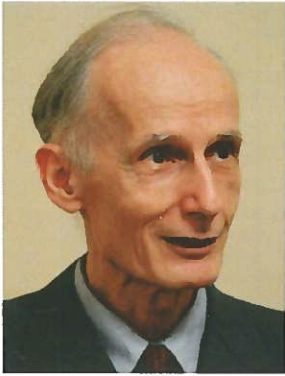
ISBN978-4-88216-339-8 C0195 【聖母文庫】 **268**

定価**648**円(税込) 281頁



ご注文・お問い合わせ先

**聖母の騎士社** ☎850-0012 長崎市本河内2-2-1  
TEL.095-824-2080 FAX.095-823-5340



# クラウス・リーゼンフーバー小著作集

(全五巻) 四六版・434頁～628頁

各巻 本体 3,800～5,000 円+税

著者は日本における中世哲学研究を牽引し、広汎にわたるキリスト教思想史の著述や編集・出版を手がけてきた。宗教家としても、キリスト教信者のみならず信仰に初めて出会う一般社会人と広く向き合い、講座や黙想会などを開いてキリスト教の精神と実践、信仰における超越との関わりを伝えている。人間の自己理解から出発し、聖書と哲学的な理解とを構築して、キリスト教信仰と霊性を現代人にとって生き生きとした形で展開している。講義、執筆活動をとおして西洋古代・中世さらに現代哲学思想をわかりやすく説く。この著作集は40余年の著述活動による150余の小論考からなっており、霊的な信仰理解と人間の経験とを結びつけて互いに支え合うものとして示そうとするものである。

人生の意義の解明と存在への問い。人生をめぐる哲学的・思想史的・人間論的な諸観点のもとで、聖書に基づいて第一根源である神を中心に展開する。

|     |  | ISBN                        |
|-----|--|-----------------------------|
| 第1巻 | <b>I 超越体験 一宗教論</b>   | 定価(本体+税)                    |
|     | 宗教の人間論的基礎付けを「意義への問い」という観点から考察した宗教哲学論文集。宗教的理解と経験がキリスト教的精神に基づいて絡み合い、人間の心を考察して全体の根源的な起源へ向ける。全11作、434p       | 9784862852151<br>3,800 円+税  |
| 第2巻 | <b>II 真理と神秘 一聖書の黙想</b>   |                             |
|     | 日常生活を貫いて人間とかわる絶対的神秘を、聖書を紐解きつつ多面的な観点から浮き彫りにする。超越との関係を求める人に向けて、宗教的経験を解明する。全35作、544p                        | 978-4862852175<br>4,600 円+税 |
| 第3巻 | <b>III 信仰と幸い 一キリスト教の本質</b>   |                             |
|     | 主の祈り、信条の命題に沿って信仰の全体像を解説。「山上の説教」をとおして人生における艱難辛苦にも焦点を合わせる。十字を切ることの意味など、聖霊の神学と霊性から信仰生活の深みを照らす。全38作、628p     | 9784862852205<br>5,000 円+税  |
| 第4巻 | <b>IV 思惟の歴史 一哲学・神学的小論</b>  |                             |
|     | 古代から中世のキリスト教思想史の考察の上に立脚し、現代における信仰をめぐる根本的な問いを洞察する。人間と神理解の可能性を新たに広げて信仰生活の深みに掘下げる。全41作、448p                 | 9784862852212<br>4,000 円+税  |
| 第5巻 | <b>V 自己の解明 一根源への問いと坐禅による実践</b>   |                             |
|     | 信仰との関わり合いの薄い現代人に向け、自己への問いから発した人生の意義と超越への方向付けを見出す実践的な道筋を示唆する。「今」を中心とする存在論・時間論を展開した最終講義「時間です!」収録。全35作、470p | 9784862852229<br>4,200 円+税  |

## ●リーゼンフーバー、クラウス [Riesenhuber, Klaus]

1938年ドイツ生まれ。1958年イェズス会入会。1967年ミュンヘン大学哲学博士。同年来日。1969年上智大学文学部哲学科専任講師。1971年東京で司祭叙階。1974年上智大学中世思想研究所所長(-2004)。1981年上智大学教授。1989年上智大学神学博士。国公立大学で客員・非常勤講師。放送大学客員教授。2009年上智大学名誉教授。現在は哲学的人間論および宗教哲学などの講座を開講。

知 泉 書 館

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-13-2 TEL: 03-3814-6161 FAX: 03-3814-6166

<http://www.chisen.co.jp>



## 朝日カルチャーセンターの 通信深読「聖書に親しむ」へのご案内

「通信深読」は、「聖書深読黙想会」にさまざまな理由で参加できない方々のために考案されました。参加を希望される方は、下記の朝日カルチャーセンター通信講座課へお申し込みください。手続きがすめば、次のような手順でこの「通信深読」が行われてゆきます。

### ファースト・ステップ

「個人素読」：毎月、朝日カルチャーセンターから指定された聖書深読箇所を、ひとりで繰り返し読み、み言葉を自由に黙想します。

### セカンド・ステップ

「個人素読」の報告書作成：送られてきた用紙（B5用紙）に、深読箇所特に印象に残った節を二三ヶ所選び、番号と○や△や×などの記号を記し、「全」には、全体の印象を表す、ご自分の体験と結びついた具体的な名詞を、「照」にはみ言葉を実践する決意を示す動詞を書き込みます。さらに「所感」や「近況報告・質問」の欄に、ご自由に自分の考えや質問等を記入します。

### サード・ステップ

（参加者から朝日カルチャーセンターへ送られた「個人素読」の報告書は、参加者全員のものまとめられ、講師へ送られます。）

講師が各参加者の「個人素読」の報告書に対しコメントし、深読箇所の「解説」（A4 2枚）と共に、朝日カルチャーセンターへ送り返します。

### フォース・ステップ

コメントされた全員の「個人素読」の報告書（「近況報告・質問」はプライベートなこともあるので、削除されます）と「総合素読表」、そして講師の「解説」が冊子となり、各参加者に、センターから送られます。

\*費用：6ヶ月（20,360円）。納入は4月、7月、10月、1月。継続の場合19,130円。

\*講師：九里彰師（奇数月）、今泉健師（偶数月）

\*問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル

私書箱21号 朝日カルチャーセンター通信講座課

Tel: 03-3344-2527（直通）



## カルメル会の企画案内



カルメル会の標語

**Zelo zelatus sum pro Domino Deo exercituum**

私は万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました（列王記上 19 : 10）



## 東京 上野毛 霊性センター

黙想企画 \*\*上野毛 聖テレジア修道院 (黙想) \*\*  
(2024年4月～)

- ・ 聖書深読黙想会 (土曜日 18時～日曜日 16時) カルメル会士  
2024年 ~~11月9日～10日~~ 中止  
4月20日～21日 →11月30日～12月1日  
5月25日～26日 2025年  
7月27日～28日 1月11日～12日  
9月28日～29日 3月15日～16日
- ・ 奉獻生活者のための黙想会 (初日 17時～最終日朝食) カルメル会士  
~~2024年8月16日(金)～25日(日)~~ 中止  
12月27日(金)～1月5日(日)

★教会の祈り (時課の祈り) を軸とした 黙想の場を提供いたします。

### 【ご利用に際して】

- ・ 介助やサポートなしで生活できる方、年齢は80歳までとさせていただきます。
- ・ 上記に抵触する方はお問合せ下さい。
- ・ 個人の場合はご家族・ご親族に、奉獻生活者の場合は長上にお申込者の状況をお伺いした上で、利用をご遠慮願う場合もありますのでご了承下さい。
- ・ 部屋は2・3階でエレベーターはありません。階段をサポートなしに1人で昇り降りできない方はご利用いただけません。



- \* 日程、指導司祭は変更される可能性もあります。お申込みの際には、ホームページ (<http://www.carmel-monastery.jp>) なども合わせてご覧下さい。
- \* こちらに掲載されている以外の日時にもご利用可能です（グループ、個人いずれも）。お気軽にお問い合わせください。
- \* 間違いを避けるため、お問い合わせは FAX・はがき・Eメール等、文書でお送り頂けますと幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

聖テレジア修道院(黙想)

Tel:03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

Eメール : [mokusou\\_kmng@carmel-monastery.jp](mailto:mokusou_kmng@carmel-monastery.jp)

ホームページ : <http://www.carmel-monastery.jp>



## 宇治カルメル会 黙想会案内

(2025年3月～2026年3月)

**【一般のための黙想】** 1泊2日 (土曜 午後5時～日曜午後4時) 中川博道神父

5:30 サルヴェ・レジーナ (修道院) から開始

3/1—2 6/21—22 7/19—20 9/20—21 12/6—7

2026年 1/31—2/1 3/7—8

**【聖書深読】** (土曜午前10時～午後4時) 中川博道神父

3/15 4/26 7/5 9/13 11/29

2026年 1/17 3/14

**【水曜黙想会】** (午前10時～午後4時) 中川博道神父

3/19 5/28 7/23 9/17 12/17

2026年 1/21 3/11

**【カルメルの霊性】** (土日) 午後5時から 中川博道神父

幼きテレーズ 9/27—28

アヴィラのテレジア 10/18—19

十字架のヨハネ 12/13—14

**【ゴールデンウィーク黙想会】** 中川博道神父

5/2 (金) 夕食～5/6 (火) 昼まで

全日通しでも途中からでも自由参加

**【祈りの学校 入門編】** (火曜 午前10時～午後4時) 松田浩一神父

3月25日

**【祈りの学校 教会の祈り】** (木曜 午前10時～午後4時) 松田浩一神父

3月20日

**【祈りの学校】 総合編** (木) 午前10時から 松田浩一神父

5/8 6/5 7/3 9/18 10/9 11/13 12/11

**【カトリック信仰生活の学び舎】**

《カテキズムに基づく》 (火) 午前10時から 松田浩一神父

4/8 5/13 6/24 7/22 9/2 10/7 11/11 12/2

**【奉獻生活者の黙想】**（午後5時～午前9時）一般参加可

3月4日(火)～13日(木) 中川博道神父

8月1日(金)夕食～10日(日)朝食 和田誠神父

12月27日(土)夕食～1月5日(月)朝食 中川博道神父

2026年

3月18日(水)夕食～27日(金)朝食 中川博道神父

**【青年男女のための黙想会】**（35歳以下） 松田浩一神父

3月22日(土)午後5時～23日(日)午後5時

（日曜日4時から女子カルメル会でミサの予定）

教皇文書：『信頼への道』

－その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします－

☆お申し込みは電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申込み下さい。お電話はなるべく午前9時～午後5時の間にお願い致します。受付が休みの場合はその場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様にお願い致します。

聖書は各部屋に備えております。またタオル類も準備してありますが、コロナ感染症対策のため各自専用分を持参してもかまいません。

現在は感染防止策のため人数制限をしていますので黙想参加希望の方は早めのお申し込みをお勧めします。

また参加の際には三密回避などを心がける様ご協力お願い申し上げます。



〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12  
宇治カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）

Tel 0774-32-7016 Fax 0774-66-1191

E-Mail: [teresiauji@mountain.ocn.ne.jp](mailto:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp)

<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

## 「祈りの学校」(2025年1月-3月)

キリスト教の祈りを学び、実践する企画です。イエス様から教会へ伝承された「祈り」に基づいて、そして教会の中で培われた「祈り」について学んでいきます。



日時(カトリック教会の祈り)：1月7日(火) ~~中止~~ ~~2月4日(火)~~ 3月25日(火)

\*日時(典礼憲章・啓示憲章)：1月23日(木)、2月13日(木)、  
3月20日(木)、

いずれも、10時から16時まで

場所：宇治聖テレジア修道院(黙想)

指導：松田浩一 神父(男子カルメル修道会)

持参するもの：ノート、筆記、ロザリオ(\*『教会の祈り』)

お問合せ・お申込みは、FAX、ハガキ、E-mailにてお願いします。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12

カルメル会宇治聖テレジア修道院(黙想)

Fax 0774-32-7457

E-mail: [teresiauji@mountain.ocn.ne.jp](mailto:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp)

## リジュアの聖テレーズの『信頼への道』

日時：③ 2025年3月22日（土）PM5時～3月23日（日）PM5時  
（尚、日曜日4時から女子カルメル会でミサの予定）

教皇文書：『信頼への道』



イエスのテレサ



リジュアのテレーズ



十字架のヨハネ

教皇フランシスコは、現在起こっている各地の戦争を憂慮しています。日本も国際社会の一員として他人ごとではありません。私たちの思いを凌駕する神の思いとは何でしょう。人間の正義を凌駕する神の義は「いつくしみ」とテレーズは言います。教皇の著作からこのことを学ぶことに致しましょう。

場 所：宇治聖テレジア修道院（黙想）

対 象：35歳までの青年男女

参加費用：下記のEメールか、FAXでご確認ください。

講話と同伴：松田浩一神父

申込み：〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12

カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

FAX：0774-32-7457

Email：teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

## 旧約聖書から学ぶキリスト教霊性

—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

2025年3月15日（14：30～16：30）

第2 イザヤの4つの主の僕の歌

その後の日程：2025年4月26日、5月17日、6月21日

持ち物：必ず聖書（旧約＋新約）をご持参ください。

場所：跣足カルメル修道会日比野修道院（カトリック日比野教会）

参加費無料。

担当：志村武神父（跣足カルメル修道会）

問合せ：日比野修道院（052-671-1003）

---

## 静修の集い（名古屋日比野修道院）

2025年3月8日（土）10：00～15：00

講話担当司祭：今泉健神父

テーマ：四旬節を十字架の聖ヨハネに倣って歩む

### 【スケジュール】

10：00～10：20 はじめの祈り

10：30～11：30 講話①

11：30～12：00 ご聖体顕示、念祷

12：00～13：00 昼食（各自持参）

13：00～14：00 講話②、

14：10～ミサ、その後茶話会、解散（15：00頃）

持ち物：昼食（各自）

参加費：無料（自由献金をお願いいたします）

以降の日程：2025年6月28日（九里彰神父）



# 諸所の企画案内



真命山 霊性交流センター  
サダナ瞑想  
慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。  
記載には注意を期しておりますが、  
詳細は各問い合わせにご照会下さい。  
よろしくお願い致します。

テーマ「希望の巡礼者」  
「主の恵みの年を告げ知らせるために」  
(ルカ4章19節)

毎月第2木曜日(10:00~15:00)  
予約は前日の16:00まで

- 1月 9日 「聖年」とは—新しい始まりの希望：聖年を迎える  
2月13日 「希望はわたしたちを欺くことはありません」—教皇フランシスコの呼びかけ  
3月13日 「希望の巡礼者」—イエス様とともに歩む  
4月10日 「希望」と信仰—希望はイエスのご復活に基づく信仰の実り  
5月 8日 「希望」と愛—希望は神の愛に基づいています  
6月12日 「希望」と愛の業—希望は愛の業によって現れる  
7月10日 「希望」と祈り—希望は祈りによって養われる  
8月 休み  
9月11日 「希望」と平和—主は与えてくださる平和における希望  
10月 9日 「希望」と福音宣教—世界に希望を届ける、教会の使命  
11月13日 「希望」と神の国—神の国の到来を待ち望む  
12月11日 「希望」と喜び—神の訪れはもたらす贈り物。



・個人またはグループでの黙想会  
研修会も歓迎いたします(要予約)

申込先  
真命山 諸宗教対話センター  
865-0133 熊本県玉名郡和水町蜻浦 1391-7  
e-mail: [shinmeizan@gmail.com](mailto:shinmeizan@gmail.com)  
[www.shinmeizan.com](http://www.shinmeizan.com)  
Tel:0968-85-3100  
Fax:0968-85-3186

## サダナ瞑想 ～東洋の瞑想とキリスト者の祈り～

プログラムの詳細、開催状況、補充情報などはホームページをご覧ください。

<http://sadhana.jp/>

申込み受付・・開始日の8日前まで

| コース             | 日時                                    | 指導 | 開催場所                               | 申込み   |
|-----------------|---------------------------------------|----|------------------------------------|---|
| フォローアップ         | 4/13(日)<br>9:30-17:00                 | 同上 | シャルトル聖パウロ<br>会九段修道院<br>(千代田区九段北)   | 来間(くるま)裕美子※<br>TEL: 090-5325-2518<br>sadhana79878@<br>gmail.com |
| 那須リピーターの会       | 4/27(日)9:00-<br>29(火・祝)14:00<br>(前泊可) | 同上 | ベタニア修道女会<br>聖ヨゼフ山の家<br>(栃木県那須郡那須町) | 同上  |
| ダイアリー           | 5/2(金)17:30-<br>6(火・祝)16:00           | 同上 | 上石神井無原罪聖母<br>修道院<br>(練馬区上石神井)      | 同上  |
| 名古屋入門 A         | 5/17(土)<br>9:30-17:00                 | 同上 | 聖霊会八事修道院<br>ミッションセンター<br>(名古屋市昭和区) | 攪上(かくあげ) 暁子<br>TEL: 090-7108-7410<br>ngosdn@gmail.com           |
| サダナ I           | 5/22(木)17:30-<br>25(日)16:00           | 同上 | 小金井聖霊修道院<br>(小金井市桜町)               | 来間(くるま)裕美子※   |
| 沖縄<br>フォローアップ   | 5/29(木)9:00-<br>5/30(金)18:00          | 同上 | 聖クララ修道院<br>(島尻郡与那原町)<br>※通いも可能です   | 佐藤芳樹<br>Tel:080-3188-6573<br>jonah3295@<br>gmail.com            |
| 沖縄<br>I & アドバンス | 5/31(土)9:00-<br>6/1(日)18:00           | 同上 |                                    |   |
| 入門 B            | 6/8(日)<br>9:30-17:00                  | 同上 | シャルトル聖パウロ<br>会九段修道院                | 来間(くるま)裕美子※   |
| 名古屋入門 B         | 6/14(土)<br>9:30-17:00                 |    | 聖霊会八事修道院<br>ミッションセンター<br>(名古屋市昭和区) | 攪上(かくあげ) 暁子   |

※ショートメールは避けてください。申し込まれると確認メールが返信されます。

確認メールが届かない場合は 090-5325-2518 (来間) までお問い合わせください。

※不在の場合は、渡辺由子/Tel & Fax : 042-325-7554

- フォローアップおよびリピーターへの参加…サダナ I を終えていること。



# 祈りの集い

～沈黙の内に神を求めて～

今年は1月1日に、能登半島地震が起き、輪島市、珠洲市など、能登地方の人々は、家の倒壊、道路の地割れなど、甚大な被害を受けました。233名の方が亡くなられ、1175人が怪我をされ、1万5309人が今なお避難生活を余儀なくされています(1月23日現在)。一日も早く平穏な生活に戻れるよう、心からお祈りしたいと思います。

今年度の「祈りの集い」の前半では、「祈りについての講話」をいたします。いままで、アビラの聖テレジアや十字架の聖ヨハネ、モーリス・ズンデルや聖書などをテキストとして使用してまいりましたが、今回は、ウィリアム・ジョンストン神父の著作『愛と英知の道 ――すべての人のための霊性神学』(2017年、サンパウロ社)を少しずつ読みながら、祈りについての理解を深めて行きたいと思います。

後半では、すべての存在(無機物から植物や動物や人間)を支えておられる、憐れみ深い神の前にありのままの自分を置き、祈りの内に神との交わりを深め、神の声に静かに耳を傾けて行きましょう。

場所: イグナチオ教会岐部ホール 404号室

(JR・地下鉄丸ノ内線・南北線四ツ谷駅徒歩1分)

時間: 13:30から

**次回の予定: 3月13日**

**ジョンストン神父の『愛と英知の道』**

**第4章 神秘主義と愛(114頁～123頁)**

2025年度スケジュール

1月16日、3月13日、5月15日、7月10日、9月18日、11月20日

主催: **慈しみ深き会**

指導: <sup>くのり</sup>九里 彰神父(カルメル修道会)

\* 参加費無料(献金歓迎)

\* 問い合わせ先: 042-473-6287 篠原(11:00～20:00)

# 『靈性センターニュース』

## \* 郵送終了のお知らせ \*

『カルメル靈性センターニュース』はWeb掲載移行に伴い、  
冊子の発行を終了しております。

これまで月刊誌として郵送を行って参りましたが、今後は  
Webにてご覧下さいます様、お願い致します。

宇治カルメル会修道院ホームページ

<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

「カルメル靈性センターニュース」(PDF)をクリック  
過去のバックナンバーも揃って掲載しております。  
どうぞご利用下さい。

また引き続きご献金もお願いしております。

郵便番号口座： 00910-6-333184  
加入者名： カルメル靈性センターニュース事務局

何かご質問等があれば、事務局の方にご連絡ください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12  
カルメル会宇治修道院 「靈性センターニュース事務局」  
Tel:0774-32-7456  
Fax:0774-32-7457  
[reisei@carmel-monastery.jp](mailto:reisei@carmel-monastery.jp)

男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

Google:「カルメル会」で検索できます



男子跣足カルメル修道会  
Order of Discalced Carmelites

靈性センターニュース掲載の情報も載っています

